

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22222003	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	人種表象の日本型グローバル研究	研究代表者 (所属・職)	竹沢 泰子 (京都大学・人文科学研究所・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A- 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は人種表象を分野・地域横断的に研究するもので、手法はセミナー、国際会議等を頻繁に開催して行う共同研究である。会議等の開催は活発で、報告書等も十分に出版されている。また、文理融合面も含むアジアからの情報発信が有効になされている。</p> <p>この種の共同研究では、各論・総論ともに議論を通して進展することが期待される。各論の蓄積には見るべきものがあるが、「統括的理論」の構築として研究目的に据えられている総論部分の理論は、本研究期間中に大幅に進展させ各論に反映させることが望ましい。関連して、国際的有力雑誌への掲載の増加も望まれる。</p> <p>研究の進展に伴う研究組織の改編は評価できるが、その理論的基礎の強化も必要である。</p>	